

東洋大学ライフデザイン学部 健康スポーツ学科ニュースレター第5号 2013年5月10日発行

ただいま「ドイツ研修中」です

5月4日から10日までの5泊7日間、教員4名と健康スポーツ学会の学生40名がケルン市を中心にドイツを訪れています。ケルン市にはドイツで唯一の体育専門大学であるケルン体育大学、日本人も所属していた1.FCケルン、100年以上の歴史を誇る総合型スポーツクラブのバイヤー社体操スポーツクラブといった本学科の教育内容と深い関係を持つ各所を訪問しています。1.FCケルンのホームグラウンド、ラインエネルギースタジアムのツアーから研修開始です。スタジアム経営の仕組みやチームスタッフのことなど事前学習から考えた質問することで単なる見学ではなく、日頃の勉強の成果を発揮する良い機会となりました。次に本研修の重要な見学地であるドイツ体育大学を訪れました。午前中、国際局のキング部長によるキャンパス案内と実際に在校生と同じトレーニングプログラムの体験、大学の仕組み、学生生活、留学生のことなどをお聞きし、さらに午後からはグループに分かれてサッカー、陸上競技、コーディネーショントレーニングなどの授業見学、さらに教員への質問の時間を取って頂きました。東洋大学の学生は様々な質問をしてキング氏が驚くほどの熱心さでした。このような研修の場として関係を持たれている大学は東洋大学が日本で唯一だそうです。3日目にはレバークーゼン市にあるバイヤー社体操スポーツクラブを訪問し、健康の維持にどのようにスポーツが取り入れられているのかという説明をお聞きすると同時に普通の人たちにとってもスポーツがとても身近で生活の一部となっていることを実感しました。このように勉強するとともにドイツの文化にも触れる機会も重要です。世界遺産であるケルン大聖堂、ヨーロッパ有数の歴史を誇るボン大学、楽聖ベートーベンの生家を訪れる予定です。

(神野 宏司)

